

1. 業務概要

業務名：新潟市におけるカラスの生息等実態調査業務委託

1. 業務の目的

本業務は、新潟市におけるカラスの生息等の実態に関する最新の状況を把握することを目的に実施したものである。

2. 調査区域

調査区域は新潟市全域である（図1-1）。

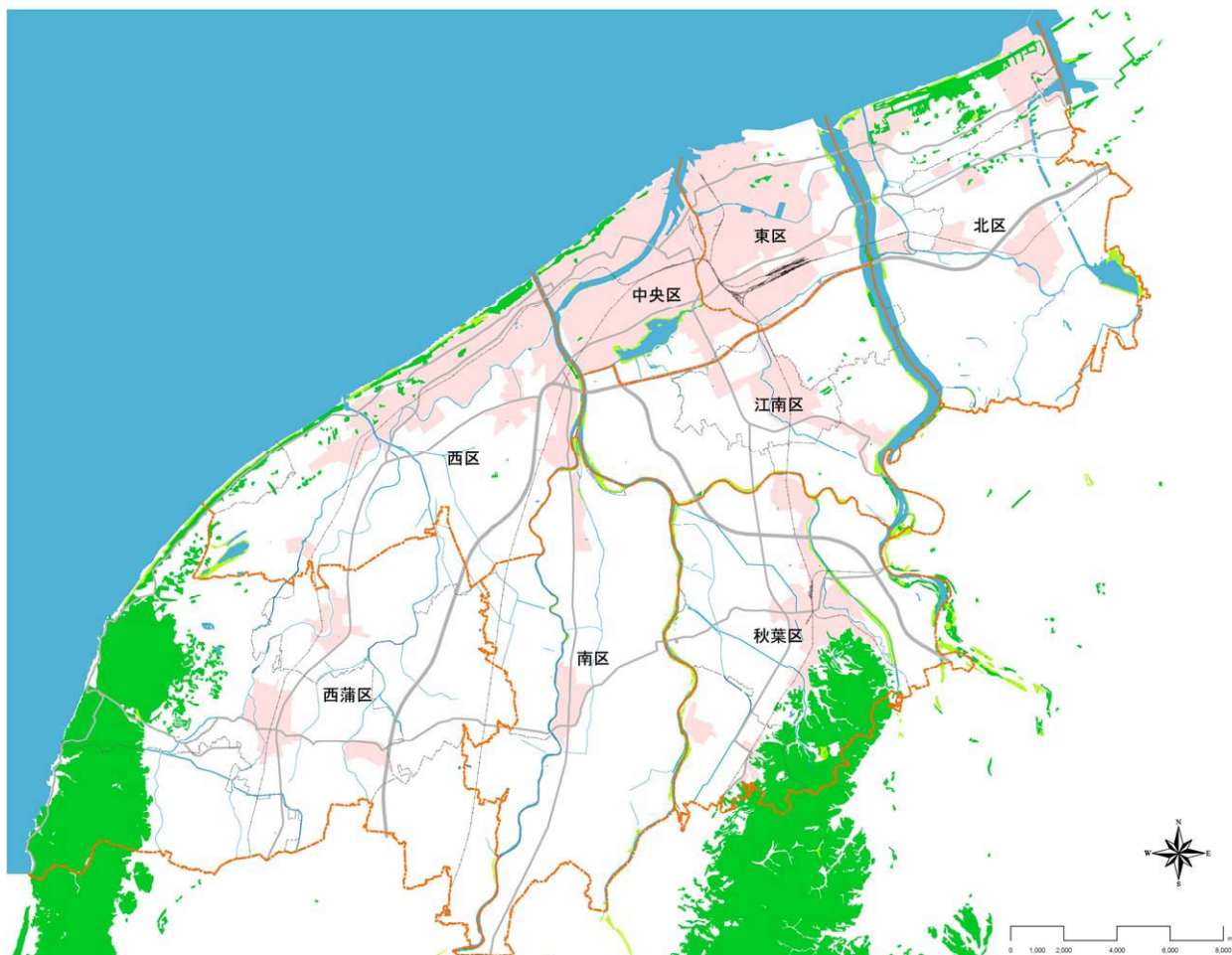


図1-1 調査区域図（新潟市域）

3. 業務実施期間

本業務は、平成22年4月27日から平成23年3月25日に実施した。

4. 業務内容

- ① 既存資料の収集
- ② 現地調査計画書の作成
- ③ 現地調査
 - ・繁殖期調査
 - ・冬季調査
- ④ 調査結果の整理・とりまとめ

5. 調査方法

既存資料やカラスに関する情報を整理するとともに、繁殖期及び冬季に現地確認調査を実施し、新潟市域におけるカラスの生息分布や生息状況を把握した(図1-2)。

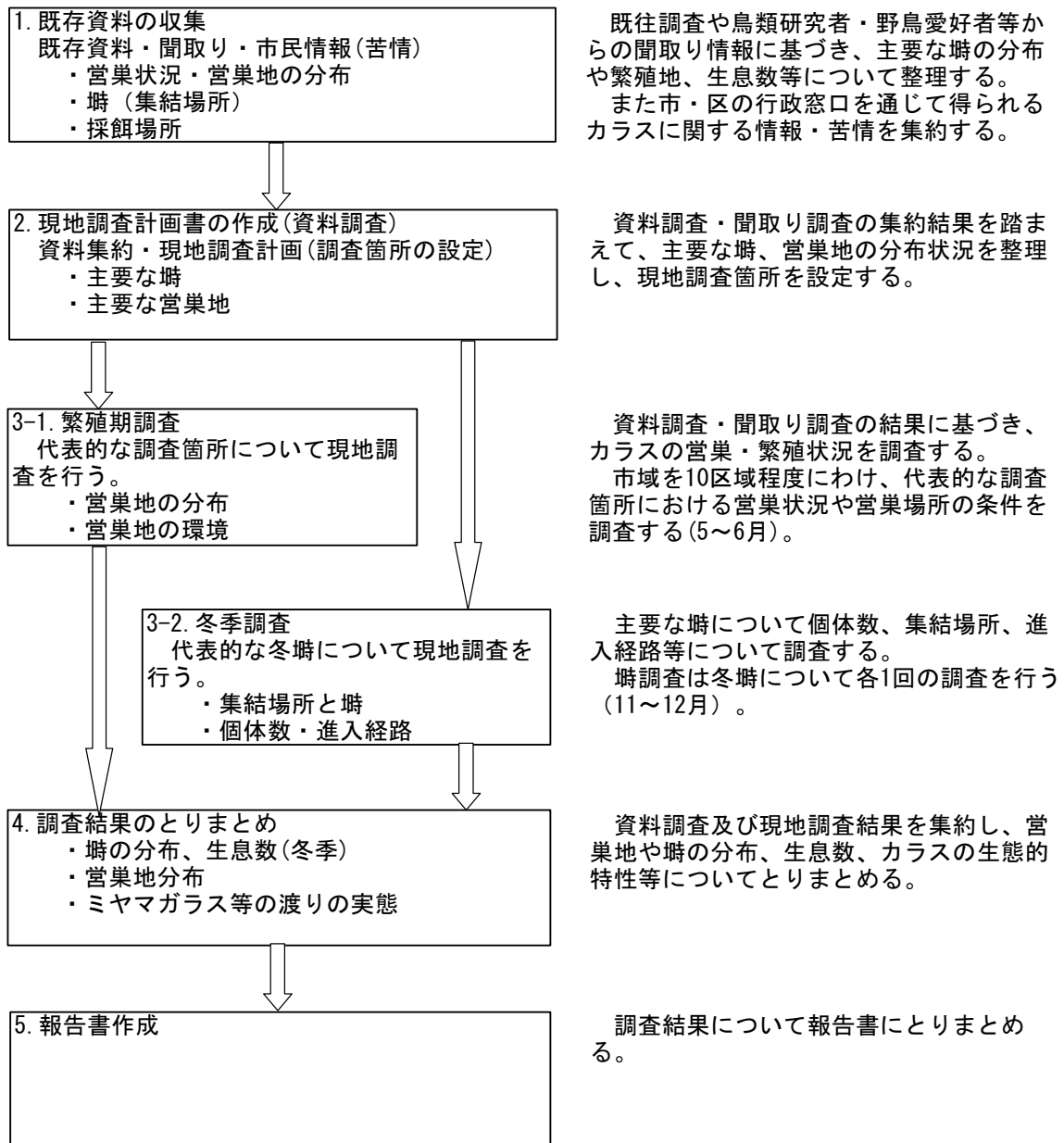


図1-2 調査のフロー

5-1 既存資料の収集

新潟市や鳥類研究者・野鳥愛好家などに対して資料収集やヒアリングを行い、新潟市全域におけるカラスの分布状況や繁殖状況及び被害発生状況等に関する既存資料を収集した。

5-2 現地調査計画書の作成

収集・整理した資料に基づき、調査区域の設定、調査方法、調査時期、調査体制などについて検討し、現地調査計画書を作成した。

5-3 現地調査

繁殖期及び冬季の2時期にカラスの生息状況に関する現地調査を実施した。調査対象地点は、代表的な数地区を行政区ごとにサンプル抽出し、カラスの行動と時期に合わせて調査を行った。

(1) 繁殖期調査

カラスの繁殖期(5月～6月)に、繁殖位置及び繁殖状況の調査を行った。カラスの営巣が確認された場所については周辺環境や営巣状況を確認・記録した。

(2) 冬季調査

集団罫を形成する冬季(12月)に、冬季調査を実施した。冬季調査では留鳥のハシブトガラス、ハシボソガラスの他、冬季に飛来するミヤマガラス、コクマルガラスについて調査し、カラスの種類、罫及び餌場の分布状況、個体数、行動の状況などについて確認した。

なお、個体数については可能な限り確認するものとし、事前に罫の位置を把握した上で、罫入りのタイミングを見計らって概数を把握することとした。

5-4 調査結果の整理・とりまとめ

調査結果について、図表を用いながらわかりやすく整理し、今後のカラス対策検討のための基礎資料をとりまとめた。

6. 業務実施体制

委託者：新潟市環境部環境政策課 自然保護係

〒951-8550 新潟市中央区学校町1番町602番地1

TEL 025-226-1363 FAX 025-230-0467

受託者：株式会社グリーンシグマ

〒950-2042 新潟市西区坂井700-1

TEL 025-211-0010 (代) 025-211-0015 (環境調査室直通) FAX 025-269-1134

主任技術者 柳沢 亨 (業務統括・とりまとめ) (技術士 建設部門・環境部門)

現場代理人 斉藤 晃 (資料調査・現地調査) (技術士補 環境部門)

調査協力：にいがた野鳥の会 (会長：熊木 高志)

調査は、にいがた野鳥の会有志の方々のご協力の下に実施した。同会は、平成14年度「新潟市に生息するカラスの生息及び生態調査」、平成15年度「カラスの生息及び生態調査(秋冬期におけるカラスの生態調査)」を受託・実施されており、その経験や知見を踏まえてご協力いただいたが、前回にも増してご尽力賜った。記して感謝の意を表する次第である。

とりまとめに際しては、日本鳥類標識協会・前会長の風間辰夫先生にご指導・ご助言を賜り文献資料をご提供いただいた。また新潟大学農学部教授・箕口秀夫先生を通じて、新潟大学五十嵐キャンパスにおけるミヤマガラスに関する研究成果(山本未来、2009年度卒業論文「大学を罫とするミヤマガラス(*Corvus frugilegus*)の日周行動と食性」)を参照させていただいた。さらに東北電力株式会社新潟営業所、新津営業所、新発田営業所からは、電柱にかけられたカラスの巣の除去の記録をご提供いただいた。御礼申し上げます。